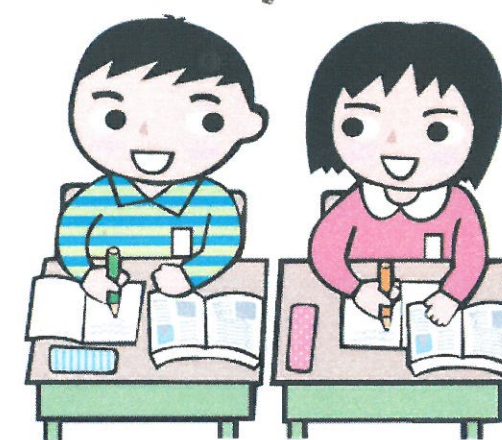


①基本的な生活習慣を見直しましょう。

早寝・早起き・朝ごはん、排便、顔洗い歯磨きを大切にしましょう。

②家庭の学習環境を整えましょう。

決まった場所で、一定の時間、テレビを消して学習に集中できるようにしましょう。



1・2年生

①規則正しい生活習慣を

早寝早起き、規則正しい食事、朝の排便、顔洗い歯磨きなど基本的な生活習慣は、学習習慣の定着に欠かせないことを保護者がしっかり自覚しましょう。

②励まし、意欲を高める

低学年の間は、家族の助けを借りながら、学校の学習内容や方法を決め、できたことをほめることによって、興味関心を引き出し、意欲を高めることができます。

③繰り返し学習を大切に

学校では、45分を1時間とした授業の中で、読み書き計算を中心とした基礎的な内容を学習します。その中には、繰り返し練習することで力がつく内容がたくさんあります。

④正しい姿勢で

正しい姿勢で座る、鉛筆を正しく持つ、明日の授業の準備をする、身の回りの整理整頓をすることは、学習する上で最低限身につけておかなければいけないことです。

生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。

★宿題をするときの環境が特に大切です。テレビを消す、勉強する場を片付ける、時間を固定する、できれば近くにいる（アドバイスできるように）、毎日宿題をやりきらせる、一緒に買い物に行く、時計を読むなど家の人の援助が重要です。

3・4年生

①学習意欲を大切に

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、やる気や根気が育つ時期です。語彙（言葉）の獲得能力も高くなり、抽象的な思考ができるようになっていわれています。

急に勉強が難しくなったという戸惑いや苦手意識を持つ子どもも増えてきます。自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

②いろいろな学習に興味をもって

中学年では、総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習内容が大きく広がります。

国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。

算数では、 $+$ 、 $-$ 、 $\times$ 、 $\div$ の計算の基礎を徹底して学ぶとともに、分数や小数など抽象的な内容も学ぶようになります。

★自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけさせることが重要です。

学習する前に、勉強する場の整理整頓や今日の宿題の確認をし、やりきらせること、学校からのお便りを手渡す習慣をつけさせましょう。

やる気や根気を育む家族のあたたかい助言・励まし、宿題や持ち物の点検などの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。

5・6年生

①計画的な学習を

生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。生活習慣を見直し、計画的に学習することが重要です。

学習に対する意欲や興味関心を高めるために、先生や家族の言葉がけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

②自ら学び考える

高学年では、学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。

筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。

家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎基本を学びます。

自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身につけることができます。

★考える力が大人並みになり、時には大人への反抗も見られるようになります。やればできるという気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、ほめたり励ましたりすることが大切です。

学習する場所の整理整頓、計画を立てた学習の進め方ができるようにしましょう。

家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり生かしたりすることができるように支援していきましょう。